



山本ゆみこ通信

暮らしに、希望と活力を！
未来に、安全・安心を！

— ごあいさつ —

色とりどりのさつきやつつじが咲き誇り、新緑の色増すさわやかな季節となりました。亀岡市議会は本年2月より新たな議会構成でスタートし、私は議会だよりの編集や議会報告会・わがまちトークの企画・運営などを担う広報広聴会議の委員長、また公明党議員団の会派幹事長を務めさせていただくことになりましたが、常に「大衆とともに」との立党精神を堅持し、しっかり責任を果たしていけるよう働いてまいります。



議会報告

平成29年3月定例会(2/27~3/27)

一般質問に立ちました！

【質問要旨】

◎ 新生児聴覚検査について

★先天性難聴の早期発見、早期療育につなげるため全ての新生児に聴覚検査を

Q 生まれつき聴覚に障害のある先天性難聴は、千人に1人～2人の割合とみられているが、早期発見と適切な支援により影響を最小限に抑えることができる。そのことから、厚労省は「全ての新生児を対象に新生児聴覚検査を実施することが重要である」として、全自治体に受診を促す積極的な対策を求めている。①受診状況の把握や未受診児への対策は。②経済的な負担を軽減するため、公費助成を行う考えは。

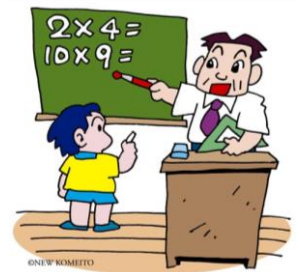


A ①健康診査や新生児訪問時に、未受診児には簡易な聞こえの検査や家庭での耳の聞こえの状況を確認し、必要な場合は医療機関での受診を勧めている。②地方交付税措置が取られていることもあり、子どものコミュニケーション能力が遅れることのないよう検討していく。

◎ 学校給食費の公会計化について

★学校給食費の公会計化の導入で、子どもたちと向き合う時間を確保すべき

Q 文科省の通知「学校現場における業務の適正化に向けて」の中には、「学校給食費などの学校徴収金会計業務の負担から教員を解放する」と示されている。そこには、教員の負担軽減の観点から学校給食費の取り扱いについては、学校の教員ではなく、学校を設置する地方自治体が自らの業務として学校給食費の徴収、管理の責任を負うことがのぞましいと明示され、現在の私会計を改め、公会計の導入を促すものとなっている。導入に向けての考えは。



A 学校現場の負担軽減については、十分配慮していく必要があると考えるが、管理徴収のシステム化や人員の配置などが必要になること、また、収納率の低下も懸念されることから、今のところは現行方法を継続していきたい。

◎ 学校規模適正化について

★別院中学校の編入については、期限あいきで拙速に結論を出すことなく、丁寧な対応を

Q 市の原案には、平成30年4月から別院中学校を南桑中学校に編入と示されているが、住民・学校現場の意見を踏まえ、実施時期や計画の見直しなど柔軟な対応が必要だと考えるが所見は。



A 子どもたちの様子や地域の保護者の皆さまの意見を踏まえながら、柔軟に対応していきたい。

2017年度予算 公明党が推進した主な内容

【教育】

- ◇「給付型奨学金」を創設（「私立・自宅外」などの学生は17年度から先行実施）
- ◇低所得者世帯の学生に対する「無利子奨学金」の成績基準を実質的に撤廃。基準を満たしても予算枠の関係で借りられなかった「残存適格者」も解消
- ◇国立・私立大学の授業料減免枠拡大
- ◇発達障がいのある子どもに対する通級指導のための教員を拡充

【復興防災】

- ◇相次ぐ大規模災害に備える防災・減災対策
- ◇福島の前帰還困難区域の整備
- ◇公衆無線LAN環境の整備

【働き方改革】

- ◇長時間労働の是正へ、「勤務間インターバル制度」を自発的に導入する中小企業を支援
- ◇非正規労働者の待遇改善のため、非正規社員を正社員にした企業への助成金を増額
- ◇賃金アップに取り組む企業への助成を拡充

【子育て・介護・年金】

待機児童解消へ、保育士の処遇を改善

- ①保育士の賃金を約2%（月額6000円程度）引き上げ
- ②経験7年以上の中堅保育士を対象に、さらに4万円上乘せ
- ③経験3年以上の若手にも、研修終了を要件に月額5000円加算

介護人材不足の解消へ、介護士の処遇を改善

- ◇昇級の仕組みのある事業所で働く介護士の賃金を月額平均1万円程度引き上げ

年金受給資格を緩和

- ◇年金の受給資格を得るための加入期間を25年から10年に短縮

【地方創生】

- ◇地方の先駆的な取り組みを支援する「地方創生推進交付金」を引き続き確保
- ◇訪日外国人客（インバウンド）増へ、観光庁予算を増額

【これまでの議会質問より、亀岡市2017年度予算に反映されました】

健康で元気あふれるまちづくり

充実

多子世帯への子ども医療費助成

現行制度に加えて、第3子以降の児童がいる世帯（多子世帯）の場合は、小・中学生の医療費（通院分）について、自己負担額の減額（助成金額の拡大）を行う。

		0歳～小学校就学前	小学校卒業まで	中学校卒業まで
入院		1か月1医療機関200円		
通院	一般世帯	1か月1医療機関200円	・1医療機関のみ受診：1か月1医療機関3000円 ・複数医療機関を受診：1か月の負担額を合算し、3000円を超えた額を償還払いにより助成	
	多子世帯		[平成29年9月診療分から実施] 1か月1医療機関200円	

豊かな心と文化を育むまちづくり

新規

市立小学校の非構造部材耐震化

学校施設の安全確保を推進するため、小学校の屋内運動場における非構造部材の耐震化を図るため、実施設計を行う。



人と環境にやさしいまちづくり

新規

再生可能エネルギーなどの普及を促進

亀岡市に住宅、事業所等の建物を所有するものが容量1基100リットル以上の雨水タンクを設置する場合に補助金を交付する。

<補助額>

- ◇雨水タンクの購入に要する経費の4分の3以内（上限3万円）



街頭演説より



4月19日亀岡運動公園前等において、公明党女性局で街頭演説を行い、平成29年度の国の予算に公明党が主張した内容が反映されていたことや、平成29年度の亀岡市の予算の概要などを報告させていただきました。

皆様からのご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください

亀岡市議会議員
山本 由美子

〒621-0114
亀岡市東別院町鎌倉雁松9-37
TEL・FAX 0771-27-3742 携帯 080-1420-4423
E-mail: yamamo630216@zeus.eonet.ne.jp
ホームページ <https://www.yamamoto-yumiko-kzhd.com/>

